



鷲の宮卓話

平和を体験的に学ぶ

太田敬雄

NPO 法人 国際比較文化研究所 (IIMS) では、毎年多文化交流プログラムを開催してきました。私たちはこれまで、文化や言葉の違いを超えて友達になり、そのネットワークを世界へ広げていく先に、いつか平和な地球社会が実現するのだと考えていました。しかし最近、その前提を覆すような、まさに「目からウロコが落ちる」新鮮な気づきに出会ったのです。交流プログラムの「先に」平和があるのではなく、「違いを超えて友となる活動そのものが、すでに平和を体験的に学ぶ場である」という目覚めでした。

この気づきのきっかけは、全国で唯一の私立農業高校である「愛農学園農業高等学校」のホームページで目にした、ある言葉でした。

愛農学園は広く森林や環境も含めた「農的生活」を学ぶ学校で、一学年 25 人の少人数で全員が寮生活を送っています。同校のカリキュラムの中で食べ物を生産し、自分たちが育てた命を毎日の食卓でいただく。それにより、「命を戴くこと」への感謝を全身で学ぶのだそうです。

さらに、ホームページにはこう綴られています。「少人数だからこそ向き合える自分があり、より深く関わることができる他者がいます。一人一人を尊重し、深く自分や他者と向き合う環境の中で、たくさんのいのちと生きる『平和社会を体験的に学ぶ』ことができる」。

この「平和社会を体験的に学ぶ」という言葉に、私は強烈に引き込まれました。そして、こ

れこそが私たちが IIMS の活動で実践してきたことそのものだと感じました。

愛農学園が目指す、寝食を共にし、お互いに自分や他者と深く向き合う活動。それは、私たちが群馬やアジアの地で展開している多文化交流プログラムの姿と重なります。

期間こそ短いものの、国籍や文化、宗教の違いを超えて同じ空間で過ごし、対話し、顔を合わせて笑い合う時間も、さらにはそのプログラムを企画し運営する学生スタッフ達の活動もまさに愛農学園が大切にしている「平和社会を体験的に学ぶ場」そのものです。

私たちは、未来のどこかに築く平和を目指して活動しているだけではありません。多文化交流の現場で若者たちが手を取り合うその瞬間瞬間に、すでに平和は体験され、明日の世界に向けて育っているのです。

愛農学園が土と命に向き合いながら平和の種をまいているように、私たち IIMS もまた、汗して創り上げる温かな多文化交流の中で、「体験する平和」を大切に守り、そこに足を置いて群馬から世界へと発信し続けてまいります。愛農学園のHP の言葉から：「たくさんのいのちといきていくこと。(略) これは体験的にしか学ぶことができない。」それが、IIMS の多文化交流で「平和」を定義したり議論したりもしない理由でもあります。

.....

この原稿は学校法人愛農学園農業高等学校のホームページから多くを頂戴して書かせていただきました。<https://ainougakuen.ed.jp> を参照・引用させていただきます。関心のある方は愛農学園の教育の基本、「神・人・土を愛する」三愛精神全体をご確認下さい。当稿ではほんの一部しか触れていません。

2026年度通常総会報告

貸借対照表

2026年3月31日 現在

▼2026年度役員▼

<会長・所長>

太田敬雄

<理事長>

太田琢雄

<副理事長>

狩野真由美

<理事>

荒井美幸

岩丸愛

関千景

關橋賢

澁谷和代

菅ヶ谷マコ

根岸大輔

横井宏行

<監事>

佐俣幹夫

福田則行

<顧問>

伊藤成

野口紀子

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	5,587,976	
流動資産合計		5,587,976
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
【事】備品購入費	1,610,136	
車両運搬具	1,548,266	
減価償却累計額	-3,124,321	
什器備品	25,278	
有形固定資産計	59,359	
(3)投資その他の資産		
敷金	85,000	
投資その他の資産計	85,000	
固定資産合計		144,359
資産合計		5,732,335
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	2,035,109	
短期借入金	125,203	
預り金	1,371,876	
所得税預り金	610,878	
事業関係預り金	11,504	
流動負債合計		4,154,570
2. 固定負債		
長期借入金	10,646,029	
退職給付引当金	1,145,000	
固定負債合計		11,791,029
負債合計		15,945,599
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-10,275,338
当期正味財産増減額		62,074
正味財産合計		-10,213,264
負債及び正味財産合計		5,732,335

2026年度の通常総会はおかげさまですべての議案についてご承認をいただき、無事に終わることができました。総会やその準備期間を通じて、皆様のサポートや応援をあらためて感じることができました。普段お会いできない方も多いですが、この場を借りて、皆様のお力添えに改めて心より感謝申し上げます。総会後には懇談会を開催し、ご参加いただいた皆様の近況報告などお聞きすることができました。多様な価値観との出会いが、一人ひとりの成長と豊かな社会につながるのだと感じることのできる有意義な時間でした。

今年度は役員改選の年でした。今回任期満了となりますのが、学生時代からIIMS学生活動の顔だった江口（岸）綾夏さんと西（菅谷）佳名子さんです。2015年に研究所理事就任以来11年間、理事の立場でIIMSを支えてくださいました。心から感謝を申し上げますと共に今後も変わらぬ関わりを楽しみにしています。新たに理事に就任されたのは横井宏行さん、根岸大輔さんです。やはり学生時代よりIIMSを支え続けてくれているお二人が名乗りをあげてくれました。どうぞ宜しくお願い致します。

SET (Student Exchange Team) の組織と活動



～多文化交流とは～
何気ないひと時を一緒に過ごす・・・
”小さなきっかけ”で繋がり、
”大きな友達の輪”へ広がる。
ここから始まる友達の輪が、『平和で豊かな地球社会を創っていく』という想いで活動しています。

多文化交流in韓国プサン 2026

～アサンで出会う、素敵な友達と特別な時間～

スケジュール
(2025年開催時参考)
▶1日目: 出国
▶2日目: 全員で行動 (レクリエーション・海水浴など)
▶4～6日目: チーム別自由行動 (国際市場、ショッピング、カフェなど)・お別れ会
▶7日目: 帰国

主催: 多文化交流in韓国プサン実行委員会
韓国在住スタッフ: フィラ・マリオン (釜山外国語大学)
日本在住スタッフ: 岡田悠仁 (関西外国語大学) 森田花音 (群馬県立女子大学)
顧問: 三原真保子 (釜山外国語大学教授) 太田敬雄 (国際比較文化研究所 所長)
後援: NPO法人国際比較文化研究所

8月の多文化交流 in プサン、9月の in マラン：
共に動き始めています！

多文化交流inインドネシア・マラン2026

2026.09.09(水)～09.15(火)

日本から約 5,600km 離れたジャバ島にある高原都市。学生が多く日本語教育が盛んです。当日は国立プラウイジャヤ大学の学生たちと交流します。

Malang マランって どんどころ？

多文化交流とは？
何気ないひと時を一緒に過ごす...
”小さなきっかけ”で繋がり、
”大きな友達の輪”に広がる。
ここから始まる友達の輪が
『平和で豊かな地球社会を創っていく』
という想いで活動しています。

【現地での活動例】
・インドネシア参加者の大学生と市場巡り、ディスカッション
・小中高訪問、生徒と交流
・大学キャンパス訪問
・ホームステイ
・ショッピング etc.

国籍が違っても、友達になれる。ちがうから、世界はおもしろい。そう思える7日間。

詳しくは裏面をチェック >>

主催: 多文化交流 in インドネシア・マラン実行委員会 運営協力団体: 国際比較文化研究所
インドネシア在住スタッフ: 菅谷マコ(NIMS マラン事務局) 日本在住スタッフ: 狩野陽南(関西学院大)

学生会員で構成される SET には現在 70 名ほどのメンバーが存在する。このグループの運営委員会的組織として Bridge of SET を置き、以下の 5 名で構成される。SET には◎地域チーム (リーダー: 守岡祈 高崎経済大学) ◎多文化ぐんまチーム (森田花音 群馬県立女子大学) ◎オンラインチーム (小原ひな 群馬県立女子大学) この 3 名が SET リーダーとなっている。他に◎多文化マラン引率 (狩野陽南 関西学院大学) と ◎多文化プサン引率 (須田悠立 関西外国語大学・森田花音) を加えた 5 名が Bridge メンバーとなっている。

SET の新入生勧誘歓迎会は 5 月 10 日に開催されました。

新入生歓迎会 in 群馬

日本・韓国・インドネシアの料理を作って食べよう!!

タイムスケジュール

12:00	到着
12:00～12:30	アイスブレイク
12:30～14:00	ご機嫌
14:00～15:30	ご機嫌
15:30～16:00	片付け・雑談会準備
16:00～17:00	全株説明会・雑談会
17:00	解散

新入生歓迎会詳細

日にち: 5月10日(日)
開催場所: 学習の森
集合場所: 安中駅 (駅から車で送迎)
集合時間: 11時40分
参加費: 1500円程度

参加申し込み方法

Googleフォームに回答してください!
フォームの回答期限は **5月8日(金)** まで
となっておりますのでご了承ください。
Googleフォームは右記QRコード又は <https://forms.gle/qvHeW35CCeTnTgG9k4>

2026年(令和8年) 5月24日(日曜日) 社会 (12)

安中のNPOが参加者募集

国境越え友達の輪

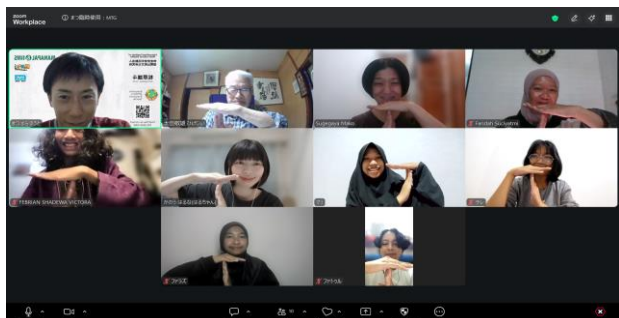
8月 大学生ら韓国訪問へ

【多文化交流in韓国プサン2026】と題し、韓国・釜山を訪ねる。ケストハウスに滞在し、釜山外国語大学で日本語を学ぶ学生と触れ合う。料理を作ったり、レクリエーションや海水浴を楽しんだりする。日本と韓国の学生が実行委員会を組織し、事業を主催し、いずれも日本側スタッフを務める須田悠立(20)の森田花音さん(23)は「日にはない釜山の空気を味わう貴重な機会。友をたくさんつづ、視野を広げたい。韓国訪問2年生の須田悠立さん(19)は「平和な地球社会が生まれる」と、国内外で多文化交流プログラムを企画。釜山やインドネシアのマランを

日本と海外の学生らの交流を推進するNPO法人国際比較文化研究所(安中市・太田敬雄所長)は8月20～26日、韓国で国際交流事業を実施する。国際情勢が厳しさを増す中で、国境を越え、友達の輪を母国語を話すNPO法人国際比較文化研究所(安中市・太田敬雄所長)は8月20～26日、韓国で国際交流事業を実施する。国際情勢が厳しさを増す中で、国境を越え、友達の輪を母国語を話すNPO法人国際比較文化研究所(安中市・太田敬雄所長)は8月20～26日、韓国で国際交流事業を実施する。

【多文化交流in韓国プサン2026】と題し、韓国・釜山を訪ねる。ケストハウスに滞在し、釜山外国語大学で日本語を学ぶ学生と触れ合う。料理を作ったり、レクリエーションや海水浴を楽しんだりする。日本と韓国の学生が実行委員会を組織し、事業を主催し、いずれも日本側スタッフを務める須田悠立(20)の森田花音さん(23)は「日にはない釜山の空気を味わう貴重な機会。友をたくさんつづ、視野を広げたい。韓国訪問2年生の須田悠立さん(19)は「平和な地球社会が生まれる」と、国内外で多文化交流プログラムを企画。釜山やインドネシアのマランを

多文化プサンは既に上毛新聞に掲載されました。



多文化マランの国境を超えてのスタッフミーティング

多文化交流 in ぐんま

未だ掲載できるチラシなどは無いが、8月開催を目指して10名のスタッフが毎週ミーティングを持ち、他にLineで頻繁に打ち合わせなど展開しており、すでにかなり具体的な構想が出来ているようである。

この夏の交流がどのようなものになるのか、楽しみ！

▼ご寄付及び会費納付先▼ —変わらぬお力添えをお願いします—

【クレジットカードによるお手続き】

【振込用紙によるお振込み】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ
<https://iims-japan.org/>

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-0-61974

銀行への振込：群馬銀行 安中支店 普通預金
口座番号 0958657

加入者 トクヒ) コクサイヒカクブンカケンキュウジョ

ニューズレターを郵送させていただいた皆様には、振込用紙を同封させていただきますが、これは請求書ではありません。一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。

メールでニューズレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送りしておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします

26 年度入会・会費・寄付振込状況 (26.4.1.~5.31.)

皆様の変わらぬお支えに励まされて活動を続けています。有難うございます。

入会：正会員 黄八洙(ファン・パルス)

正会員会費：伊藤成、岩丸愛、江口綾夏、太田敬雄、太田琢雄、太田玲子、狩野真由美、金井美由紀 (25,26)、幸田一彦、菅ヶ谷由美子、鈴木布美子、関千景、關橋賢、中易圭子、西加名子 (24,25,26)、根岸大輔、野口紀子、黄八洙、朴株亨、福田則行、福崎結子、村田元、

賛助会費：新井瑞穂、荒井和子、板垣剛、岩本松江、上田暢子、大澤直子、小坂景子、小原智、梶原悦子、梶山拓弥、片岡謙、金井優季 (25,26)、Candy Koo、熊倉浩靖、小林慎樹、関口澄、近藤佳代、斉木雄作、齋藤正幸、齋藤野乃、坂田くるみ、佐俣久子、清水久美、杉浦翔太、巢山史枝、關橋理沙、高山佳葉、田中志乃、千木良和子、橋詰元良、藤本恵大、星野富雄、増山律子、間庭有美子、丸山武子、村井田和夫、森泉孝行、森泉英司、横井宏行、

寄付：前田申栄、菅ヶ谷由美子、岩本松江、間庭有美子、巢山史枝、板垣剛 (まなばる寄付)、佐俣久子、金井美由紀、幸田一彦、中易圭子、村田元、清水久美、大衆文化研究会、伊藤成、狩野真由美、太田玲子、片岡謙、根岸大輔、樋本達之、吉田理沙、

編集後記：☆実は多文化交流 in プサンと in マランのチラシには裏面も有るのですが、掲載するスペースがありませんでした。関心のある方はお問い合わせください。☆愛農学園に刺激されて、同時にこれまでの IIMS の活動に自信を与えられて、これからもうひと頑張りしてみたいと思われています。

☆支えて下さる方々のお力添えを願っております (敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393
研究所 HP：https://iims-japan.org
メールアドレス：iims.since2000@gmail.com
まなばる HP：https://manapal.jp
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974